超新星現る!!「マンガ大賞2018」

サンスポ
〒100-8140東京都千代田区大手町1-7-2
TEL03-3231-7111（大代表）©産業経済新聞社2018
サンケイスポーツ
平成30年（2018）3/22木曜日 先勝
昭和38年3月16日 日刊 特別版
http://www.sanspo.com/

大賞 BEASTARS（ビースターズ）

BEASTARS
我らコンタクティ
凪のお暇

デビューからわずか2年
史上最短でつかんだ大賞

© 板垣巴留（秋田書店）2017

秋田書店快挙!!1位と3位を「受賞」

凪のお暇（なぎのおいとま）

©コナリミサト（秋田書店）2017

各界のマンガ好きが選ぶ「マンガ大賞2018」が22日発表され、板垣巴留（いたがき・ぱる）作「BEASTARS（ビースターズ）」（週刊少年チャンピオン連載）が大賞に輝いた。肉食獣と草食獣の共存世界で生きる動物の高校生を擬人化して描くヒューマンドラマで、書店員らの選考委員に大きな支持を得た。3位にはコナリミサト作「凪のお暇（なぎのおいとま）」（月刊エレガンスイブ連載）が選ばれ、秋田書店のマンガ誌の連載作品がベスト3の2作を占める快挙となった。

著者・板垣巴留（ぱる）氏「ヒト科の読者の方々、ありがとうございます!」

歴史に名を刻んだ

まさに超新星だ。マンガ好きが「いま最も薦めたいマンガ」を選ぶマンガ大賞。今年の受賞作は、獣人の高校生たちが悩み、苦しみながら、全力で生きる姿を描く、板垣巴留氏の「BEASTARS」。デビューからわずか2年での、史上最短受賞。日本マンガ史の扉を開いた。

「ビースターズを読んでくださっているヒト科の読者の方々、本当にありがとうございます！皆さんの存在あっての大賞です」

板垣氏は、多くの支持に感謝した。「BEASTARS」は、同氏の単行本デビュー作。2016年、擬人化された動物たちが肉食獣と草食獣の共存世界で生きる「BEAST COMPLEX」を週刊少年チャンピオンに全4話読み切りで掲載し、デビュー。たちまち大きな反響を呼び、この「BEASTARS」の連載が決まった。

オオカミが恋をしたのは、ウサギだった―。

舞台を高校に移した「BEASTARS」は、アルパカの演劇部員が「食殺される事件から物語が始まる。演劇部員でハイイロオオカミの主人公「レゴシ」の苦悩と成長、ドワーフ種のウサギ「ハル」との恋愛を軸にした青春群像劇だ。

肉食が禁止された世界で、草食獣を食べて生きる本能と葛藤する肉食獣。庇護（ひご）される立場に悩む草食の小動物。強者と弱者の逆転から生まれる差別…。背景に横たわる重いテーマを、動物のコミカルなかわいさで包む。恋愛への憧れ、友人とのお気楽なやり取りはまさに学園ドラマ。この絶妙なバランスを読者が支持した。

252作品の頂点に!!

「このマンガがすごい！2018」オトコ編の第2位にランクイン。さらに「文化庁メディア芸術祭賞2018マンガ部門新人賞」も受賞。そして「マンガ大賞2018」では、252作品から1次選考の上位12本に入り、2次選考で1位の得票数を獲得。堂々、大賞に輝いた。

しっかり向き合う

「私は嘘のない世界が見たくて、この漫画を描いています。本能と理性の狭間で必死に生活する動物たちは、本作同様、不完全ではありますが、その姿をいろいろな心境で見守ってもらえたら幸いです。最後までしっかりとこの漫画と向き合っていきますので、これからも健康第一で頑張ります！」

漫画界の超新星となった板垣氏は、決意を新たにした。アルパカ殺しの真犯人は？　レゴシとハルとの恋の成就は？　肉食、草食を超えた名誉の存在である「BEASTAR（ビースター）」とは？　物語の行方は見えない。今からでも遅くない。現代の人間社会を鏡のように映し出す「BEASTARS」の世界にハマってみてはいかがだろうか。

BEASTARS（ビースターズ）

板垣巴留作。肉食獣と草食獣が共存する世界。全寮制の名門チェリートン学園でアルパカが食殺される事件が起きる―。

演劇部員の主人公、ハイイロオオカミ「レゴシ」の苦悩と成長、ドワーフウサギ「ハル」との恋の行方を中心に、肉食獣と草食獣の本能、差別、正義、善と悪、そして希望を描く〝ヒューマンドラマ〟。「BEASTAR」とは学園ナンバーワンの地位を示す言葉で、肉食、草食の分類を超越するが、作中では空席となっている。

週刊少年チャンピオンで2016年から連載が始まり、少年チャンピオンコミックスにて、既刊7巻。

板垣 巴留

「本能と理性の狭間で必死に生活する動物たちは不完全ではありますが、その姿をいろいろな心境で見守ってもらえたら幸いです」

板垣　巴留（いたがき・ぱる）

2016年デビュー。週刊少年チャンピオンでデビュー作の読み切り連作「BEAST COMPLEX」を掲載後、「BEASTARS」の連載を開始した。

◆歴代のマンガ大賞と2、3位の作品◆

2008年	「岳」石塚真一	②「よつばと！」あずまきよひこ　③「海街diary」吉田秋生
09年	「ちはやふる」末次由紀	②「宇宙兄弟」小山宙哉　③「3月のライオン」羽海野チカ
10年	「テルマエ・ロマエ」ヤマザキマリ	②「宇宙兄弟」小山宙哉　③「バクマン。」大場つぐみ・小畑健
11年	「3月のライオン」羽海野チカ	②「乙嫁語り」森薫　③「アイアムアヒーロー」花沢健吾
12年	「銀の匙　Silver Spoon」荒川弘	②「大東京トイボックス」うめ　③「信長協奏曲」石井あゆみ
13年	「海街diary」吉田秋生	②「乙嫁語り」森薫　②「ボールルームへようこそ」竹内友
14年	「乙嫁語り」森薫	②「僕だけがいない街」三部けい　③「さよならタマちゃん」武田一義
15年	「かくかくしかじか」東村アキコ	②「子供はわかってあげない」田島列島　③「聲の形」大今良時
16年	「ゴールデンカムイ」野田サトル	②「ダンジョン飯」九井諒子　③「BLUE GIANT」石塚真一
17年	「響～小説家になる方法～」柳本光晴	②「金の国　水の国」岩本ナオ　③「ダンジョン飯」九井諒子
18年	「BEASTARS」板垣巴留	②「我らコンタクティ」森田るい　③「凪のお暇」コナリミサト

マンガ大賞

2008年創設。書店員を中心とした有志による選考委員が「面白いと思ったマンガを、その時、誰かに薦めたい！」というコンセプトで選んだ作品に贈られる。

選考対象は前年の1月1日から12月31日に出版された単行本のうち、最大巻数が8巻までの作品。1次選考で各選考委員が「人にぜひ薦めたいと思う作品を5作品」を選び、得票数10位までの作品が2次選考に進む。選考委員は2次選考作品の全てを読んで3作品に投票。その集計1位が「マンガ大賞」に選ばれる。

わかる～「あるある」に女性から共感

必見〝生活の知恵〟

空気は、読むものじゃなくて、吸って吐くものだ。

このフレーズが刺さる。「凪のお暇（なぎのおいとま）」の主人公の凪（なぎ）は、28歳の独身女性。「わかる～」が口癖のOLで、空気を読むことに必死になりすぎ、過呼吸で倒れたことから会社を辞めて生活をリセット。人生の断捨離ラブコメディーだ。

空気をため込んだ風船が突然割れたようにブレークしたのは、昨年夏。作中のカットがスライドショーのように連続して表示される電子版コミックのバナー広告がきっかけだった。

「あるある」と共感した20代から30代の女性が反応し、あっという間に人気が拡散。昨年12月、雑誌「anan」が選ぶ「第8回ananマンガ大賞」に輝いた。貯金100万円からのリセットとあって、凪の「節約小ネタ」も話題だ。豆苗、すいとん、いわしのフリッターなどなど。料理好きのコナリミサト氏自身が実践した、知恵が詰まったレシピが、次々と登場する。

「リセット後、空気を読むのをやめたことで、本来の自分を取り戻していくのですが、そのプロセスを描くのは楽しいです」とコナリミサト氏。過呼吸の原因にもなったモラハラの元カレ、優しい隣人との三角関係の行方は？　お暇（いとま）をいただいたほぼだった主人公の暮らしは、まだまだ波瀾（はらん）万丈だ。

凪のお暇（なぎのおいとま）

コナリミサト作。空気を読むことに必死になりすぎ、ついに過呼吸で倒れた大島凪（なぎ）、28歳。他人に合わせる生活をやめ、東京郊外のアパートで人生をリセットした〝こじらせ女子〟が、2人の男性（モラハラの元カレ＆優しい隣人）との間で揺れるラブコメディー。元手100万円で始めた節約暮らしでの〝生活の知恵〟も読みどころ。

月刊エレガンスイブで2016年から連載され、単行本はA.L.C.DXより既刊3巻。

コナリミサト

「本来の自分を取り戻していく、プロセスを描くのは楽しい」

コナリミサト

2004年デビュー。著書に「珈琲いかがでしょう」「恋する二日酔い」「宅飲み残念乙女ズ」など。2016年より月刊エレガンスイブ（毎月26日発売）で「凪のお暇」を連載中。